



HRD共同調査とは、HIV感染症治療薬の  
市販後における使用実態、安全性に関する調査です。

## HIV 感染症治療薬共同使用成績調査 17 年次報告書 追補版

(調査開始 ～ 2014 年 3 月)

医療関係者各位

HIV 感染症治療薬(抗 HIV 薬及び HIV 関連疾患治療薬)共同使用成績調査(以下、本調査)へご協力頂きありがとうございました。

本調査にて収集された当該薬剤の使用実態、有効性及び安全性についての情報を医療の現場にフィードバックするため、1997 年調査開始時より年度毎に調査結果の概要を別途、冊子としてまとめてきておりますが、今回、直近の調査期間である 17 年次(2013 年 4 月 1 日～2014 年 3 月 31 日)における使用実態のデータを加え、本調査結果の概要について、簡潔にまとめた追補版の小冊子を作成いたしました。本小冊子が診療のご参考になれば幸いです。

なお、本小冊子は、HIV 診療に携わる専門医の先生方のご意見を参考に作成致しました。

2014 年 11 月

HRD共同調査協議会

ヴィーブヘルスケア株式会社

MSD株式会社

グラクソ・スミスクライン株式会社

田辺三菱製薬株式会社

日本たばこ産業株式会社

ファイザー株式会社

ブリistol・マイヤーズ株式会社

ヤンセンファーマ株式会社

シミック PMS 株式会社(CRO: 調査受託会社)



# HIV 感染症治療薬共同使用成績調査

## 17 年次報告書 追補版

(調査開始 ～ 2014 年 3 月)

## 目次

調査対象薬剤	1
調査対象全症例における治療開始後の CD4 数及び HIV-RNA コピー数の推移	3
・ 治療開始後の CD4 数の推移	
・ 治療開始後の HIV-RNA コピー数の推移	
調査対象全症例における治療開始後の CD4 数及び HIV-RNA コピー数の推移	4
・ 治療開始後の CD4 増加数の推移	
調査対象全症例における生存率	5
・ HRD 共同調査生存率1 全症例のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における生存率	6
・ HRD 共同調査生存率1-1 カプランマイヤー法による生存率(2001年3月31日以前に治療開始した症例)	
・ HRD 共同調査生存率1-2 カプランマイヤー法による生存率(2001年4月1日以降に治療開始した症例)	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)	7
・ HRD 共同調査生存率2 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(全死亡)	8
・ HRD 共同調査生存率2-1(2001年3月31日以前に治療開始した症例) 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
・ HRD 共同調査生存率2-2(2001年4月1日以降に治療開始した症例) 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患の死亡による)	9
・ HRD 共同調査生存率2 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
調査対象全症例における治療開始時の CD4 数別生存率(AIDS 指標疾患の死亡による)	10
・ HRD 共同調査生存率2-1 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	
・ HRD 共同調査生存率2-2(2001年4月1日以降に治療開始した症例) 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率	

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率・・・・・・・・・・11

- ・ HRD 共同調査生存率3  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率・・・・・・・・・・12

- ・ HRD 共同調査生存率3-1(2001年3月31日以前に治療開始した症例)  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率
- ・ HRD 共同調査生存率3-2(2001年4月1日以降に治療開始した症例)  
治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率

調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時の CD4 数及び HIV-RNA コピー数・・・13

- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の CD4 数
- ・ 併用療法薬剤変更時の CD4 数
- ・ 治療経験が無い患者(naïve 患者)への治療開始時の HIV-RNA コピー数
- ・ 併用療法薬剤変更時の HIV-RNA コピー数の推移

2011 年度から 2013 年度に使用された併用療法の種類(薬剤組合せ)・・・・・・・・14

調査対象薬剤

HIV 感染症治療薬の共同使用成績調査に合意している会社薬剤

(2014 年 3 月現在再審査期間中の市販薬剤)

医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
バリキサ錠 450mg	バルガンシクロビル塩酸塩	2004 年 11 月 ~ 2014 年 11 月
レクシヴァ錠 700	ホスアンプルナビルカルシウム水和物 (fAPV)	2004 年 12 月 ~ 2014 年 12 月
エムトリバカプセル 200mg	エムトリシタビン (FTC)	2005 年 3 月 ~ 2015 年 3 月
ツルバダ配合錠	エムトリシタビン・テノホビル シソプロキシル フマル酸塩 (FTC/TDF)	2005 年 3 月 ~ 2015 年 3 月
プリジスタ錠 300mg	ダルナビル (DRV)	2007 年 11 月 ~ 2017 年 11 月
プリジスタナীব錠 400mg	ダルナビル (DRV)	2009 年 8 月 ~ 2017 年 11 月
アイセントレス錠 400mg	ラルテグラビル (RAL)	2008 年 6 月 ~ 2018 年 6 月
ミコフテインカプセル 150mg	リファブチン	2008 年 7 月 ~ 2018 年 7 月
インテレンス錠 100mg	エトラビリン (ETR)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
シーエルセントリ錠 150mg	マラビロク (MVC)	2008 年 12 月 ~ 2018 年 12 月
サムチレル内用懸濁液 15%	アトバコン	2012 年 1 月 ~ 2020 年 1 月
エシユラント錠 25mg	リルピビリン (RPV)	2012 年 5 月 ~ 2022 年 5 月
スタリビルド配合錠	エルビテグラビル/コビシタット/エムトリシタビン /テノホビル シソプロキシルフマル酸塩 (EVG/COBI/FTC/TDF)	2013 年 3 月 ~ 2023 年 3 月
プリジスタナীব錠 800mg	ダルナビル (DRV)	2013 年 7 月 ~ 2017 年 11 月

(参考:2014年3月現在再審査期間が終了している薬剤)

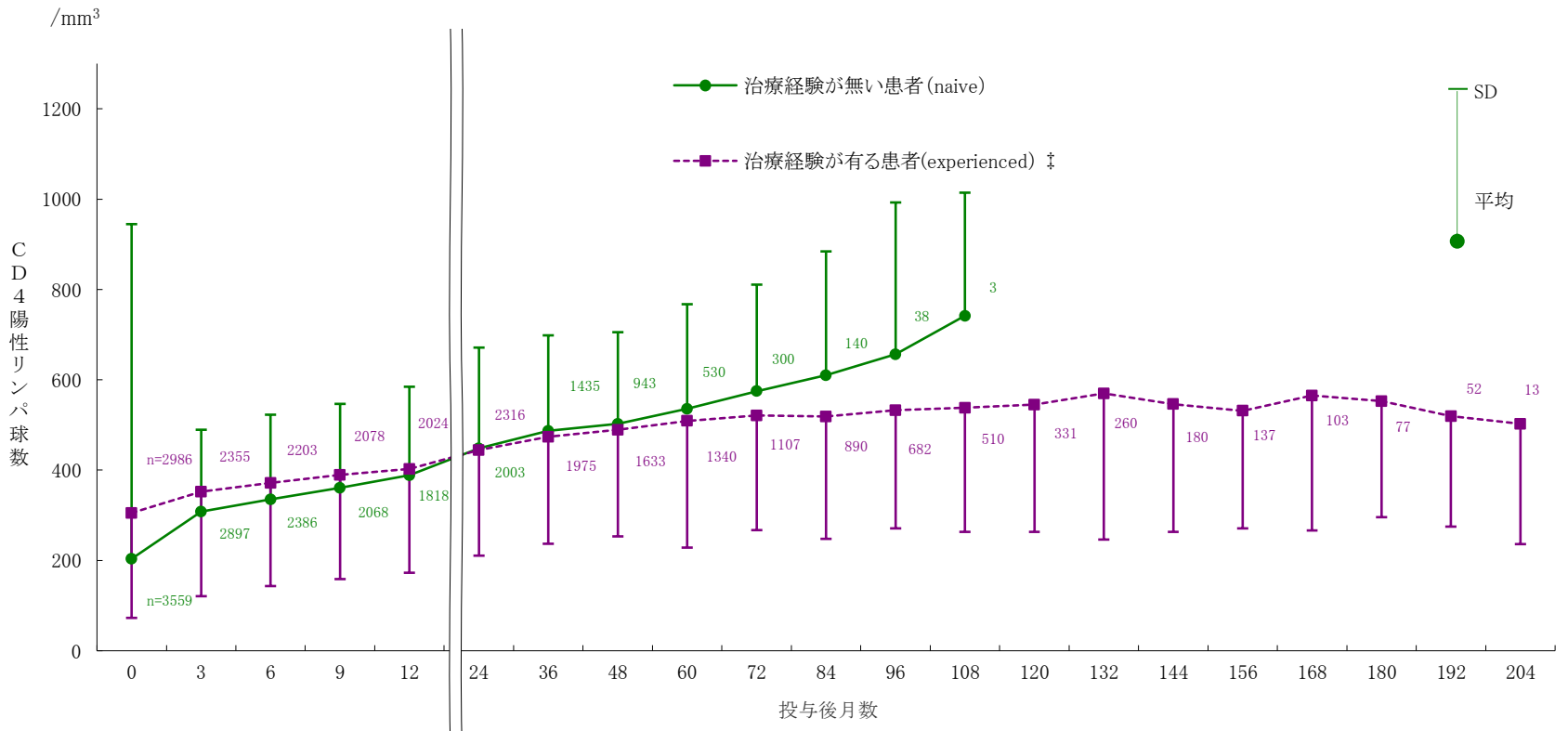
医薬品名	薬剤名(略号)	再審査期間
エピビル錠 150,300	ラミブジン(3TC)	1997年2月～2007年2月
コンビビル配合錠	ジドブジン(AZT)・ラミブジン(3TC)	1999年6月～2007年2月
クリキバンカプセル	インゾナビル硫酸塩(IDV)	1997年3月～2007年3月
点滴静注用ホスカビル	ホスカルネットナトリウム水和物	1997年3月～2007年3月
ゼリットカプセル	サニルブジン(d4T)	1997年7月～2007年7月
デノシンカプセル <sup>※1</sup>	ガンシクロビル	1997年7月～2007年7月
インビラーゼカプセル	サキナビルメシル酸塩(SQV-HGC)	1997年9月～2007年9月
ノービア内用液・ソフトカプセル <sup>※1</sup>	リトナビル(RTV)	1997年11月～2007年11月
ビラセプト錠 250mg	ネルフィナビルメシル酸塩(NFV)	1998年3月～2008年3月
クラリス錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン(CAM)	1998年9月～2008年9月
クラリシット錠・ドライシロップ	クラリスロマイシン(CAM)	1998年9月～2008年9月
ビラミューン錠	ネビラピン(NVP)	1998年11月～2008年11月
ザイアジエン錠	アバカビル硫酸塩(ABC)	1999年9月～2009年9月
ストックリン錠 200mg,600mg	エファビレンツ(EFV)	1999年9月～2009年9月
カレトラ配合錠・配合内用液	ロピナビル(LPV)・リトナビル(RTV)	2000年12月～2010年12月
エプシコム配合錠	ラミブジン(3TC)・アバカビル硫酸塩(ABC)	2004年12月～2010年12月
ジスロマック錠 600mg	アズスロマイシン	2001年12月～2011年12月
カレトラ配合錠	ロピナビル(LPV)・リトナビル(RTV)	2011年4月～2013年3月 <sup>※2</sup>
レイアタツカプセル 150mg,200mg	アタザナビル硫酸塩(ATV)	2003年12月～2013年12月
ビリアード錠 300mg	テノホビル ジソプロキシルフマル酸塩(TDF)	2004年3月～2014年3月

※1:デノシンカプセル・ノービアソフトカプセルは現在、販売されておられません。

※2:カレトラ配合錠の用法追加(1日1回)は再審査対象ではないため調査期間を示しております。

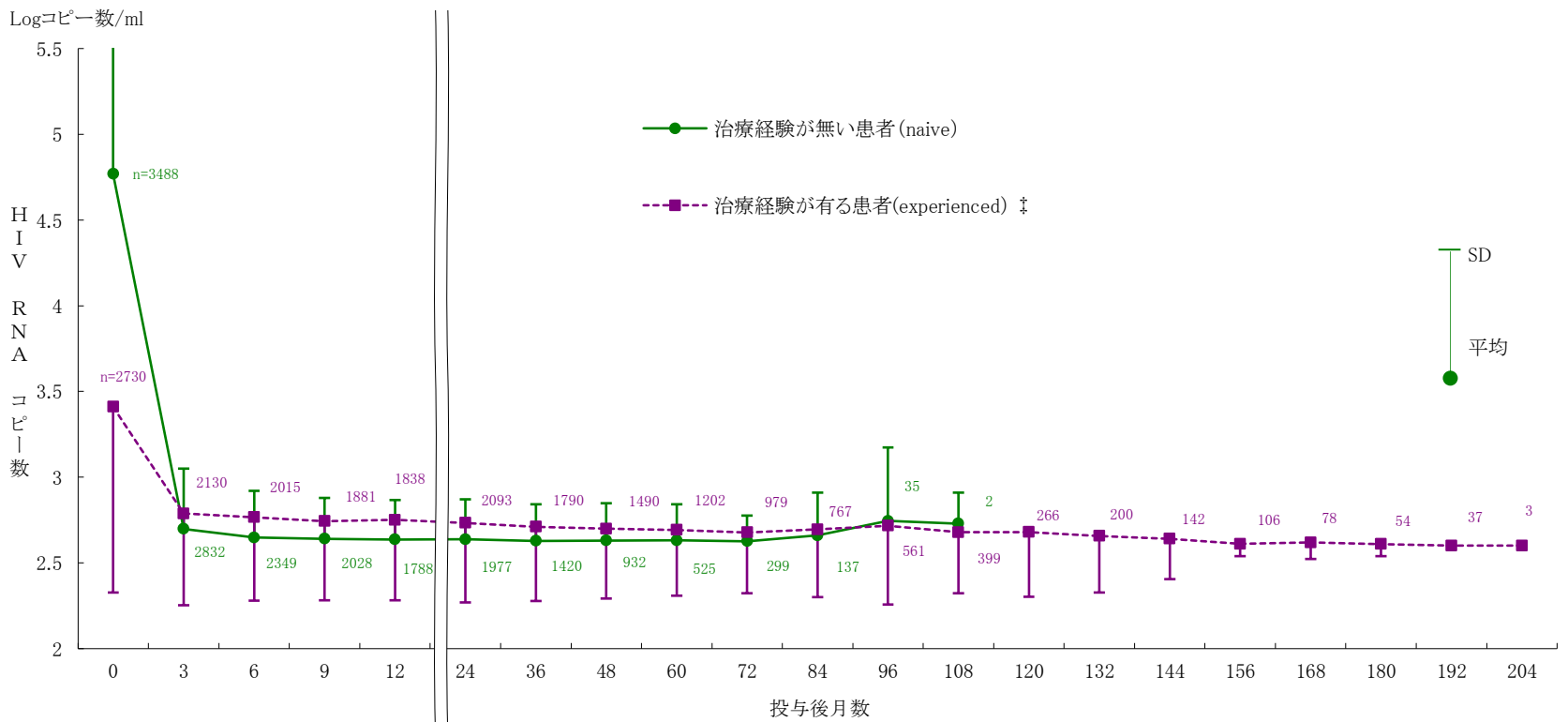
# 調査対象全症例における治療開始後のCD4数及びHIV-RNAコピー数の推移

## 治療開始後のCD4数の推移<sup>†</sup> (調査期間:調査開始から2014年3月) (n=6545)



† 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

## 治療開始後のHIV-RNAコピー数の推移<sup>†</sup> (調査期間:調査開始から2014年3月) (n=6218)

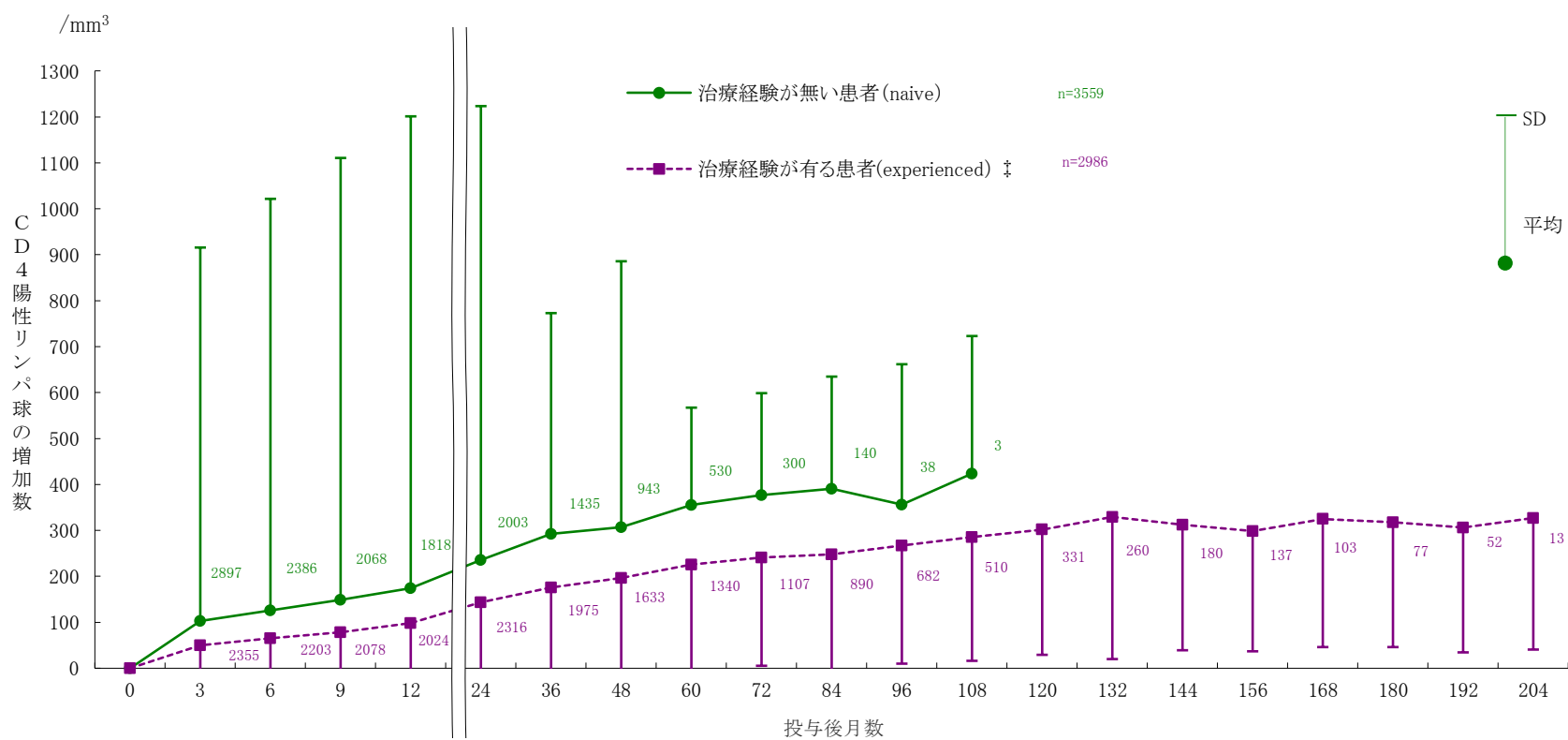


† HIV-RNA コピー数の400未満については便宜上一律399として作表した。  
HIV-RNAコピー数のMean±S.D.は、対数変換後算出を行った。  
治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
‡ 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。



## 治療開始後のCD4増加数の推移<sup>†</sup>

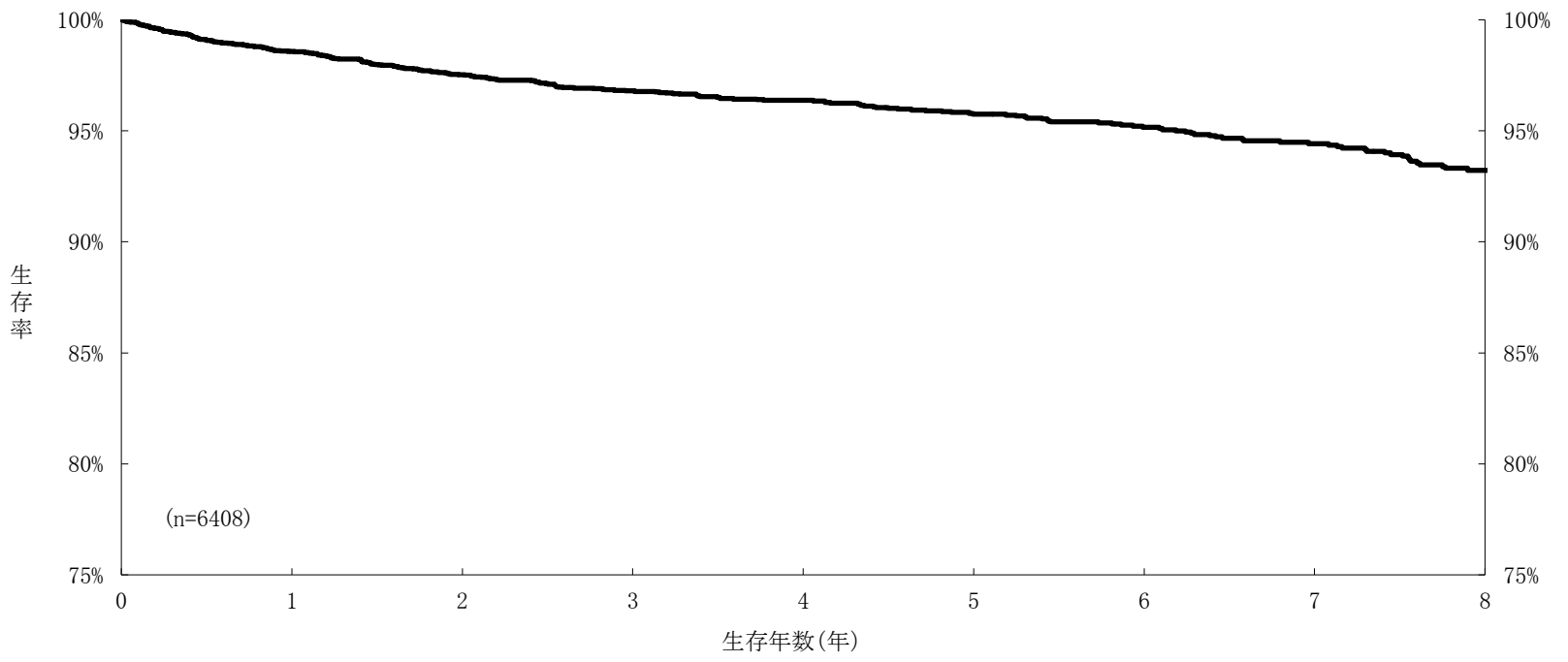
(調査期間: 調査開始から2014年3月) (n=6545)



CD4数については治療開始時(投与後0ヶ月)を0とし、その後の差分を表した。  
<sup>†</sup> 治療開始時を含め2点以上測定された症例にて使用されたデータを採用した。  
<sup>‡</sup> 治療経験が有る患者は、治療開始時の併用療法の薬剤が1剤でも変更された症例を採用した。

# 調査対象全症例における生存率

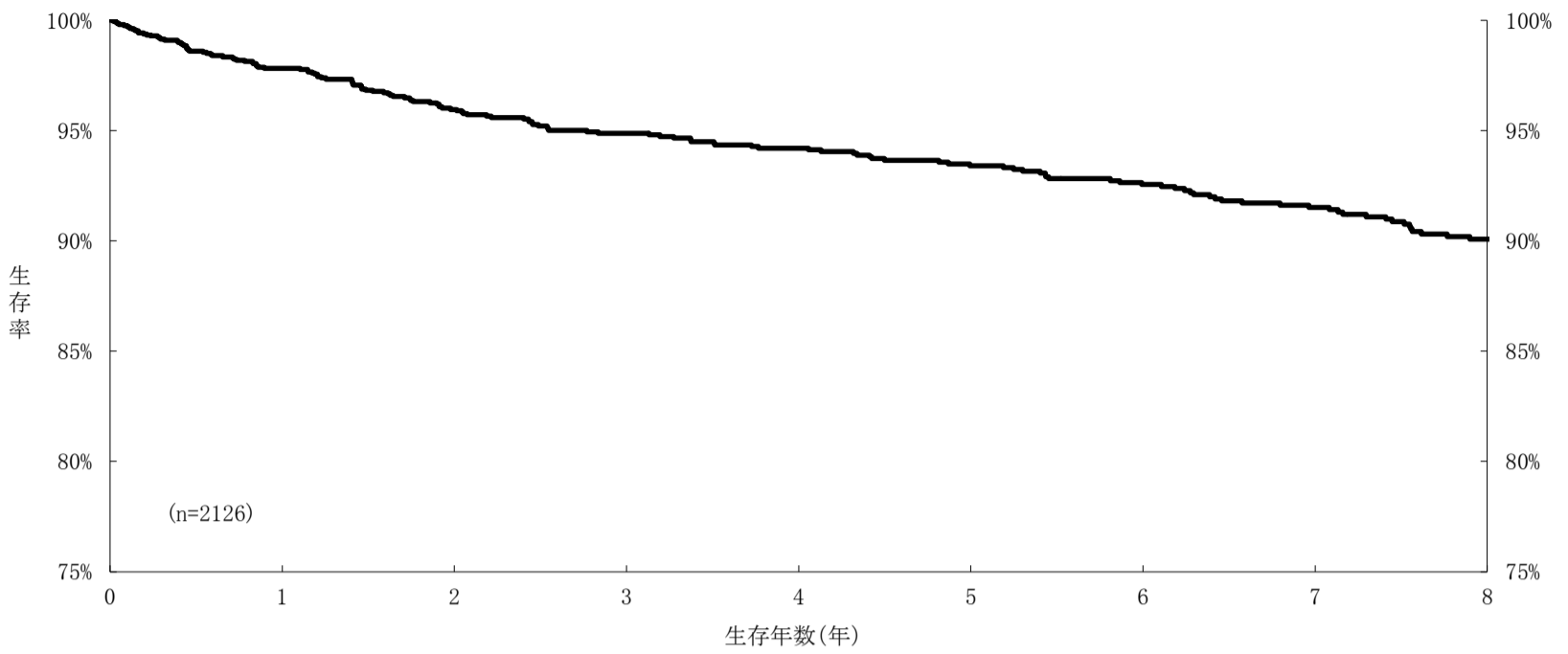
HRD共同調査生存率  
全症例のカプランマイヤー法による生存率  
(調査開始から2014年3月)



生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
生存者数	6408	5473	4717	3939	3150	2390	1872	1440	1074	791	525	398	273	209	157	116	64	16

9年以降は生存者数のみの表記とした。

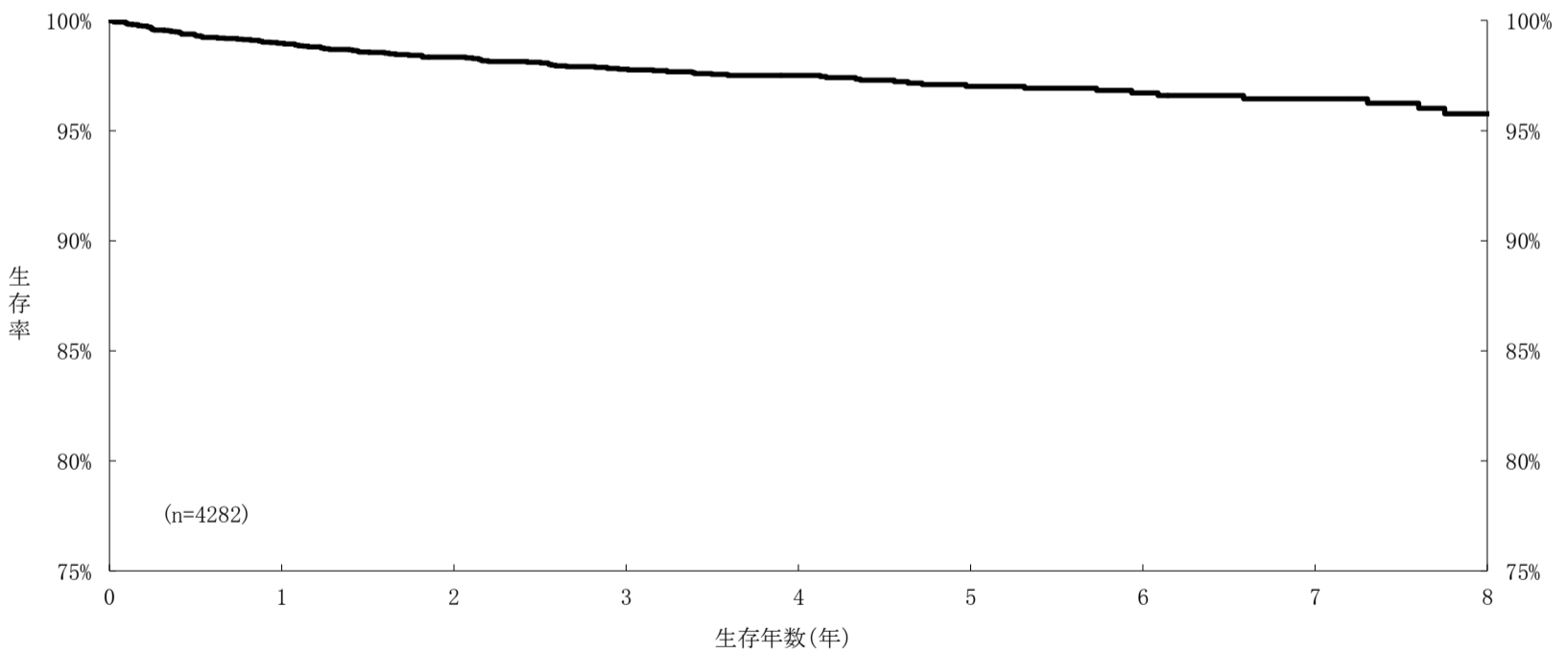
HRD共同調査生存率  
 カプランマイヤー法による生存率  
 (2001年3月31日以前に治療開始した症例)



生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
生存者数	2126	1833	1591	1332	1220	1146	1033	898	733	563	394	332	263	208	157	116	64	16

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
 カプランマイヤー法による生存率  
 (2001年4月1日以降に治療開始した症例)

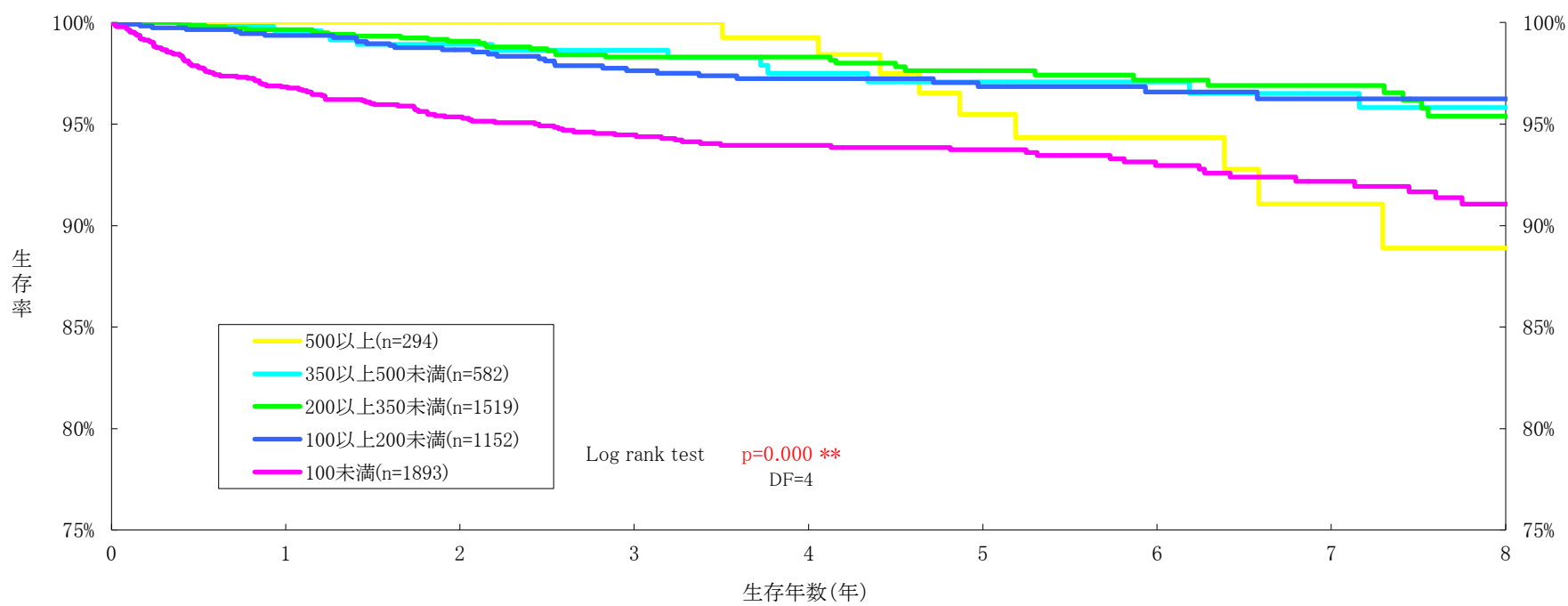


生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)
生存者数	4282	3640	3126	2607	1930	1244	839	542	341	228	131	66	10	1

9年以降は生存者数のみの表記とした。

調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(全死亡)

HRD共同調査生存率  
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (調査期間:調査開始から2014年3月)



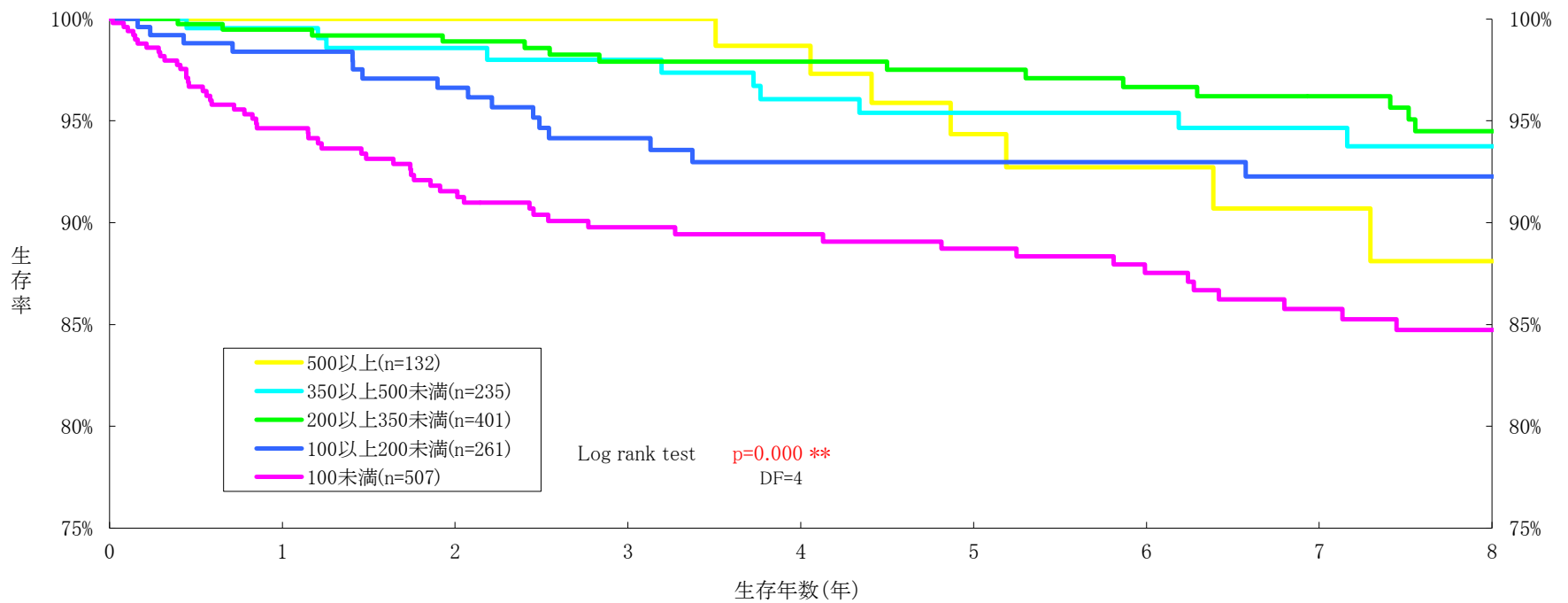
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。  
 治療開始時のCD4数350前後において群間に有意な差を認めなくなっ  
 ているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、  
 生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が  
 少なくなったこと等が要因として考えられる。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	$p=0.881$
350未満 vs 350以上	$p=0.097$
200未満 vs 200以上	$p=0.000^{**}$
100未満 vs 100以上	$p=0.000^{**}$

CD4数別の 生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
	<100	1893	1584	1368	1180	966	721	535	392	270	190	134	95	60	44	29	21	12	3
<200	1152	1030	929	797	640	463	352	252	181	131	86	65	45	34	26	22	8	4	
<350	1519	1306	1112	894	670	481	382	292	211	158	101	77	54	43	37	29	14	3	
<500	582	464	369	289	235	198	175	144	119	83	59	46	27	22	18	11	5	2	
500≦	294	232	187	154	119	86	68	44	34	23	15	10	6	5	5	4	2	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)



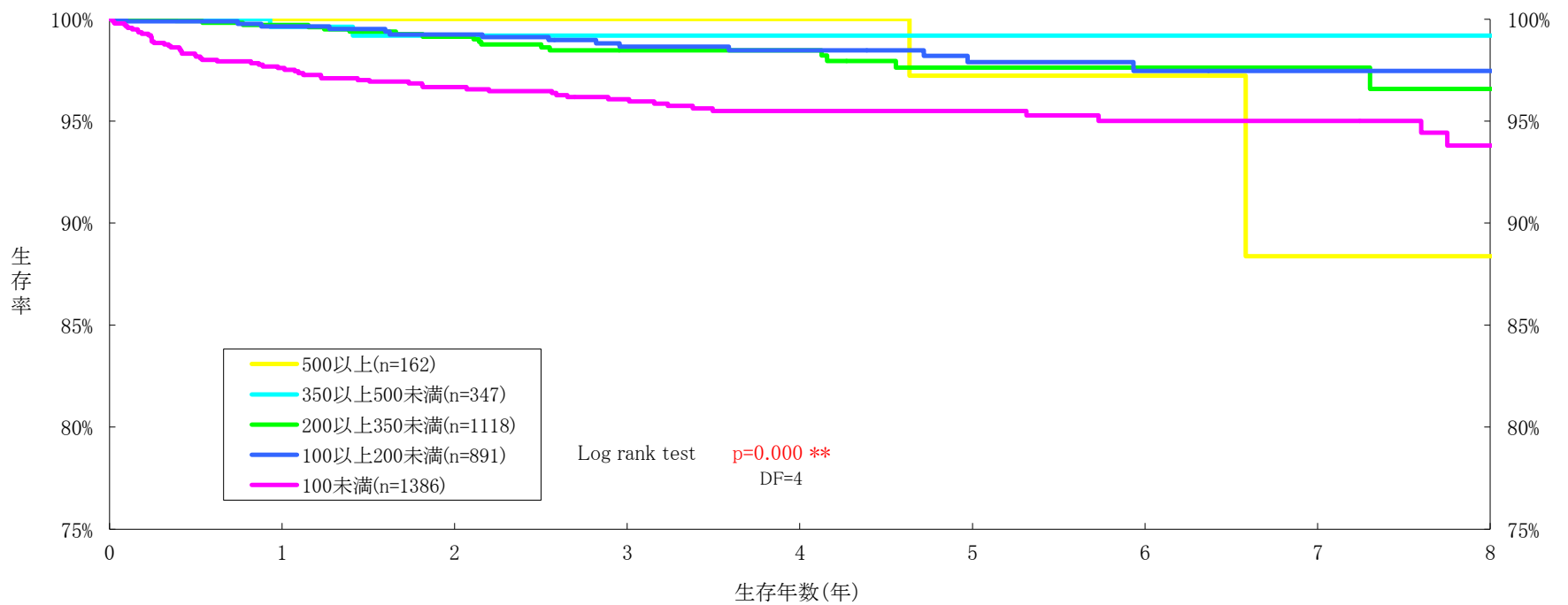
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。  
治療開始時のCD4数350前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.658
350未満 vs 350以上	p=0.077
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
	<100	507	395	330	276	257	247	211	175	143	102	80	67	56	43	29	21	12	3
<200	261	235	206	168	156	144	134	125	100	83	62	55	43	34	26	22	8	4	
<350	401	362	324	276	254	240	223	189	146	113	76	64	53	43	37	29	14	3	
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	18	11	5	2	
500 ≤	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	5	5	4	2	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。  
治療開始時のCD4数500前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。

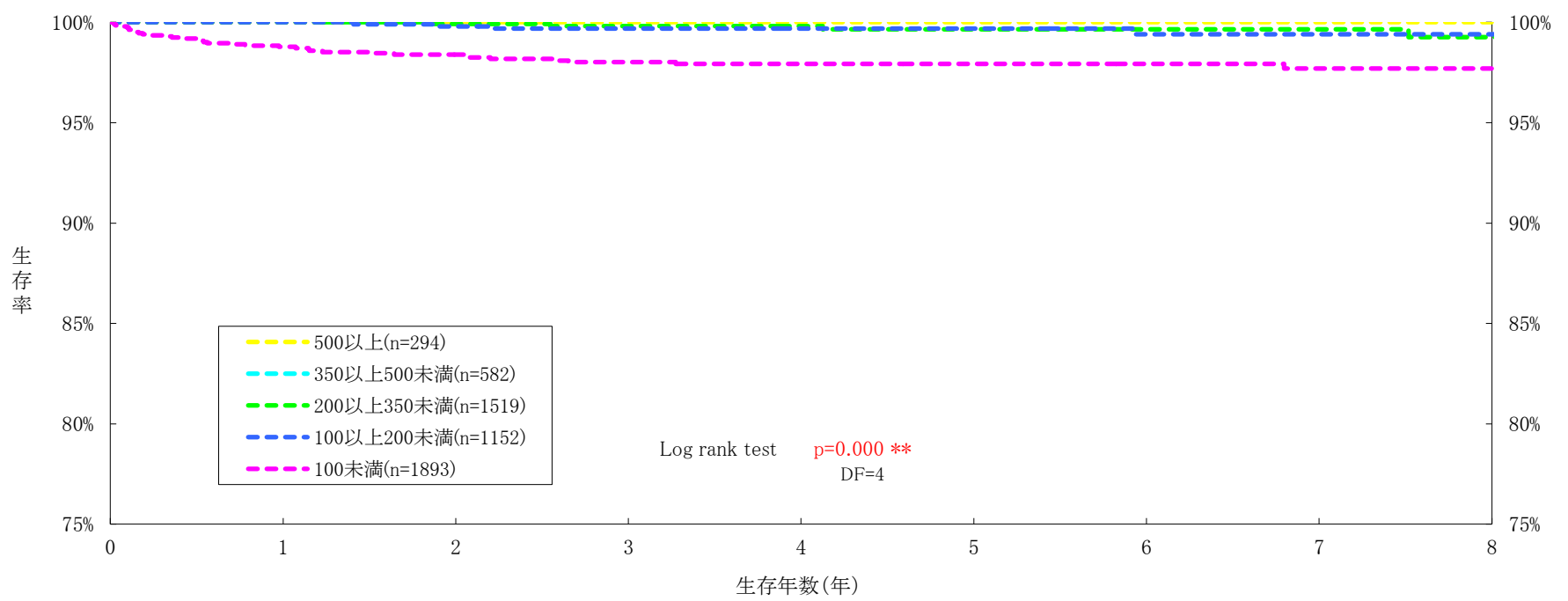
治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.505
350未満 vs 350以上	p=0.044 *
200未満 vs 200以上	p=0.002 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)
	<100	1386	1189	1038	904	709	474	324	217	127	88	54	28	4	1
<200	891	795	723	629	484	319	218	127	81	48	24	10	2	0	
<350	1118	944	788	618	416	241	159	103	65	45	25	13	1	0	
<500	347	256	192	136	89	60	47	35	26	21	11	6	0	0	
500 ≤	162	120	90	73	47	26	16	7	5	4	3	1	0	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

調査対象全症例における治療開始時のCD4数別生存率(AIDS指標疾患による死亡)

HRD共同調査生存率  
 治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (調査期間:調査開始から2014年3月)



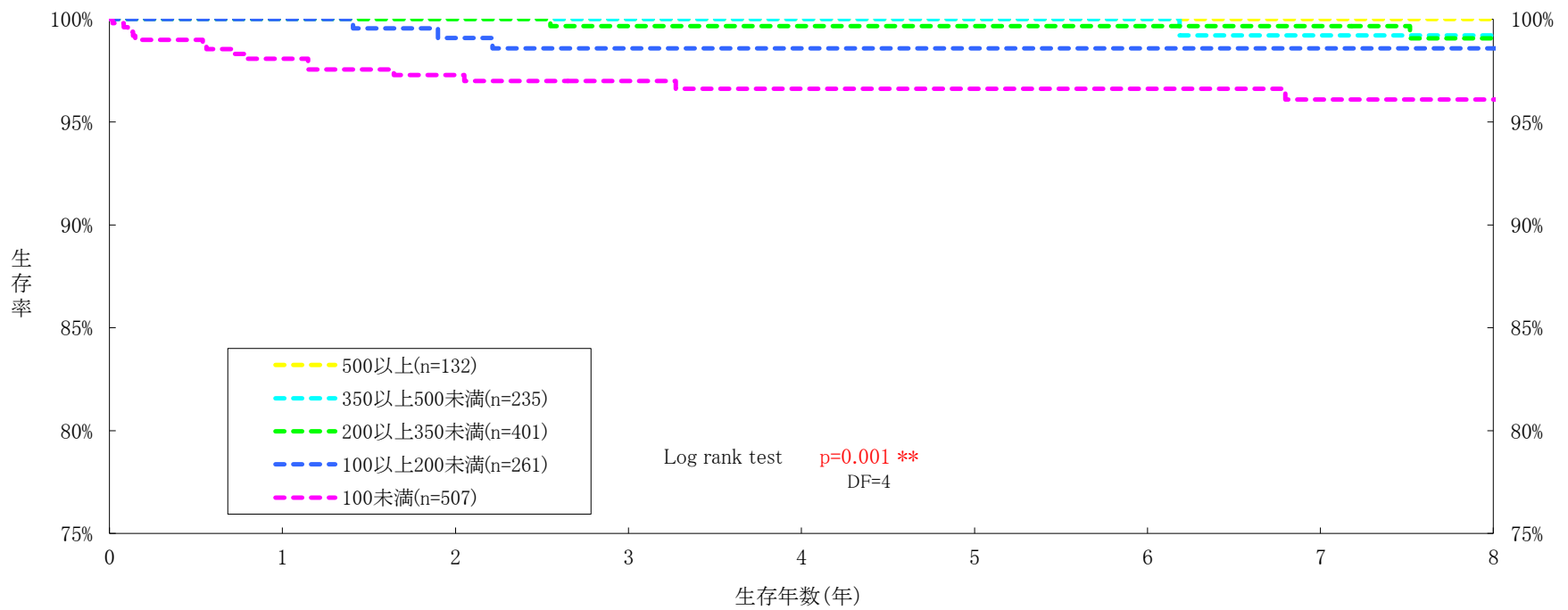
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
 本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
 治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.129
350未満 vs 350以上	p=0.017 *
200未満 vs 200以上	p=0.000 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の 生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
	<100	1893	1584	1368	1180	966	721	535	392	270	190	134	95	60	44	29	21	12	3
<200	1152	1030	929	797	640	463	352	252	181	131	86	65	45	34	26	22	8	4	
<350	1519	1306	1112	894	670	481	382	292	211	158	101	77	54	43	37	29	14	3	
<500	582	464	369	289	235	198	175	144	119	83	59	46	27	22	18	11	5	2	
500≧	294	232	187	154	119	86	68	44	34	23	15	10	6	5	5	4	2	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年3月31日以前に治療開始した症例)



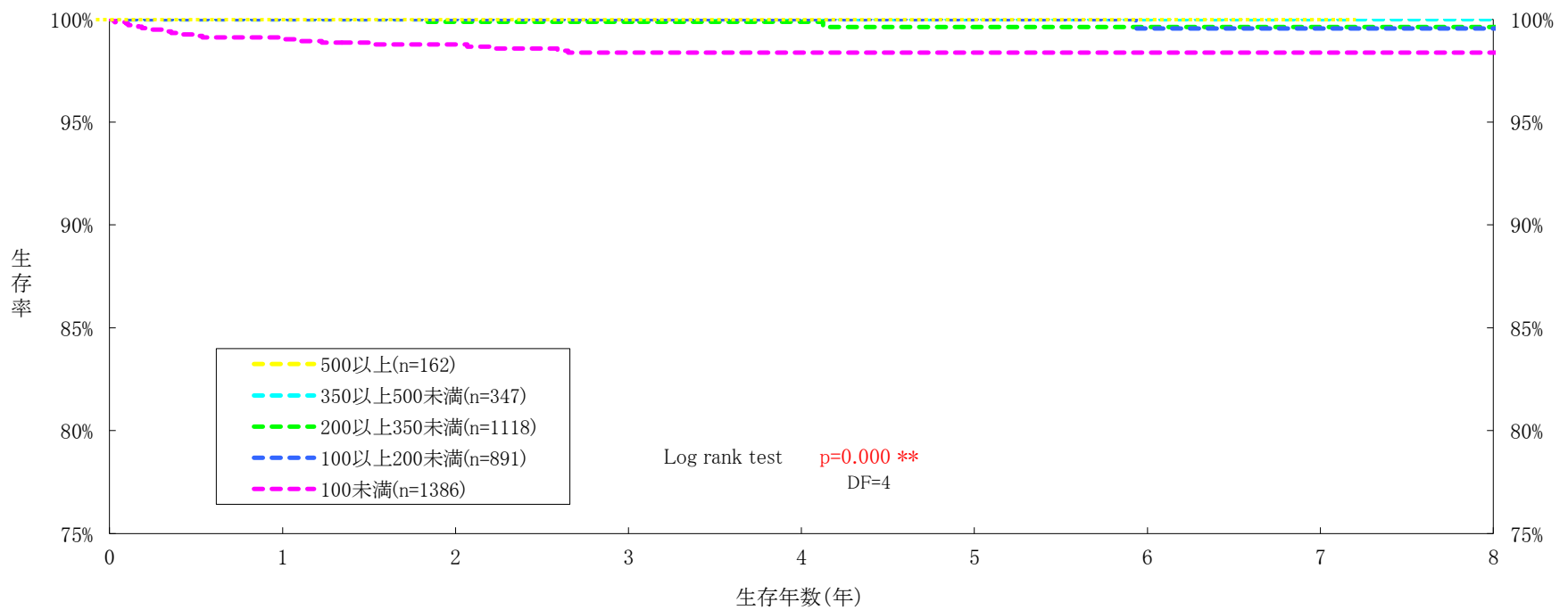
治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.170
350未満 vs 350以上	p=0.038 *
200未満 vs 200以上	p=0.001 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
	<100	507	395	330	276	257	247	211	175	143	102	80	67	56	43	29	21	12	3
<200	261	235	206	168	156	144	134	125	100	83	62	55	43	34	26	22	8	4	
<350	401	362	324	276	254	240	223	189	146	113	76	64	53	43	37	29	14	3	
<500	235	208	177	153	146	138	128	109	93	62	48	40	27	22	18	11	5	2	
500≤	132	112	97	81	72	60	52	37	29	19	12	9	6	5	5	4	2	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
治療開始時CD4数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
(2001年4月1日以降に治療開始した症例)



治療開始時のCD4数が不明の症例は除外した。  
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や  
治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

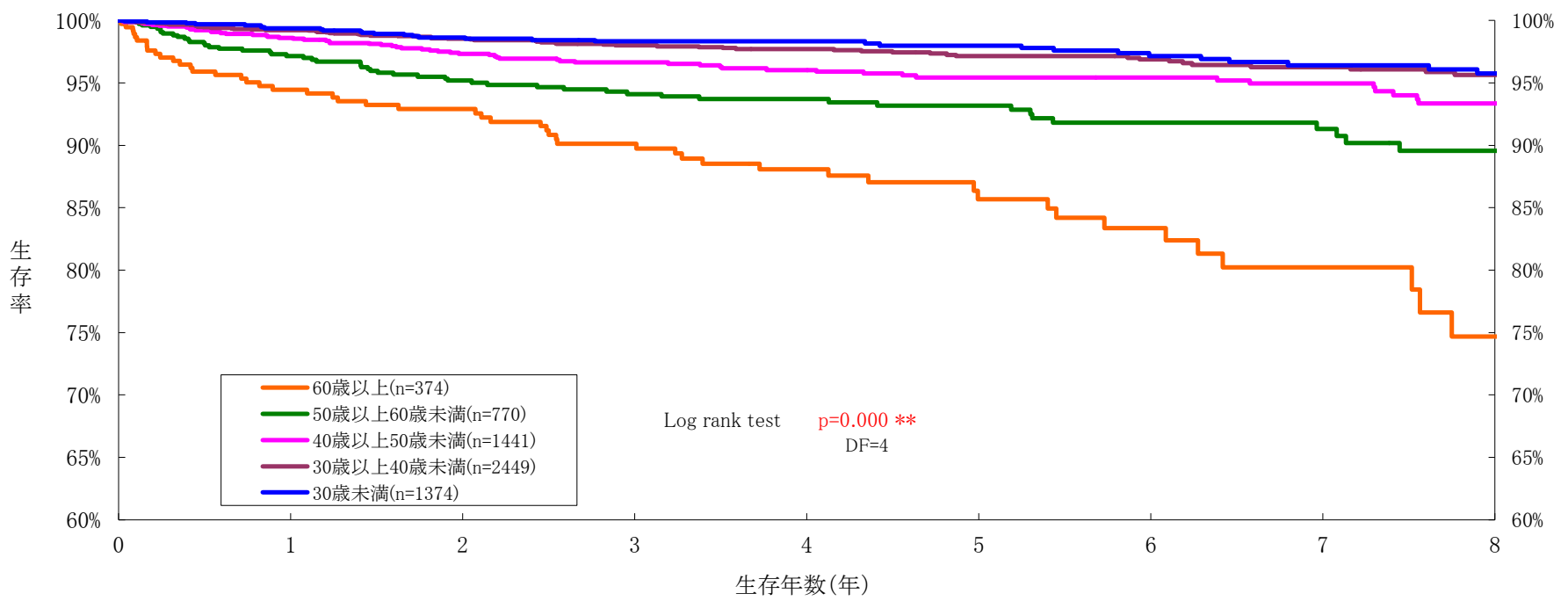
治療開始時CD4数	Log rank test
500未満 vs 500以上	p=0.353
350未満 vs 350以上	p=0.086
200未満 vs 200以上	p=0.003 **
100未満 vs 100以上	p=0.000 **

CD4数別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)
	<100	1386	1189	1038	904	709	474	324	217	127	88	54	28	4	1
<200	891	795	723	629	484	319	218	127	81	48	24	10	2	0	
<350	1118	944	788	618	416	241	159	103	65	45	25	13	1	0	
<500	347	256	192	136	89	60	47	35	26	21	11	6	0	0	
500≤	162	120	90	73	47	26	16	7	5	4	3	1	0	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

# 調査対象全症例における治療開始時の年齢別生存率

HRD共同調査生存率  
 治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (調査期間:調査開始から2014年3月)



本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

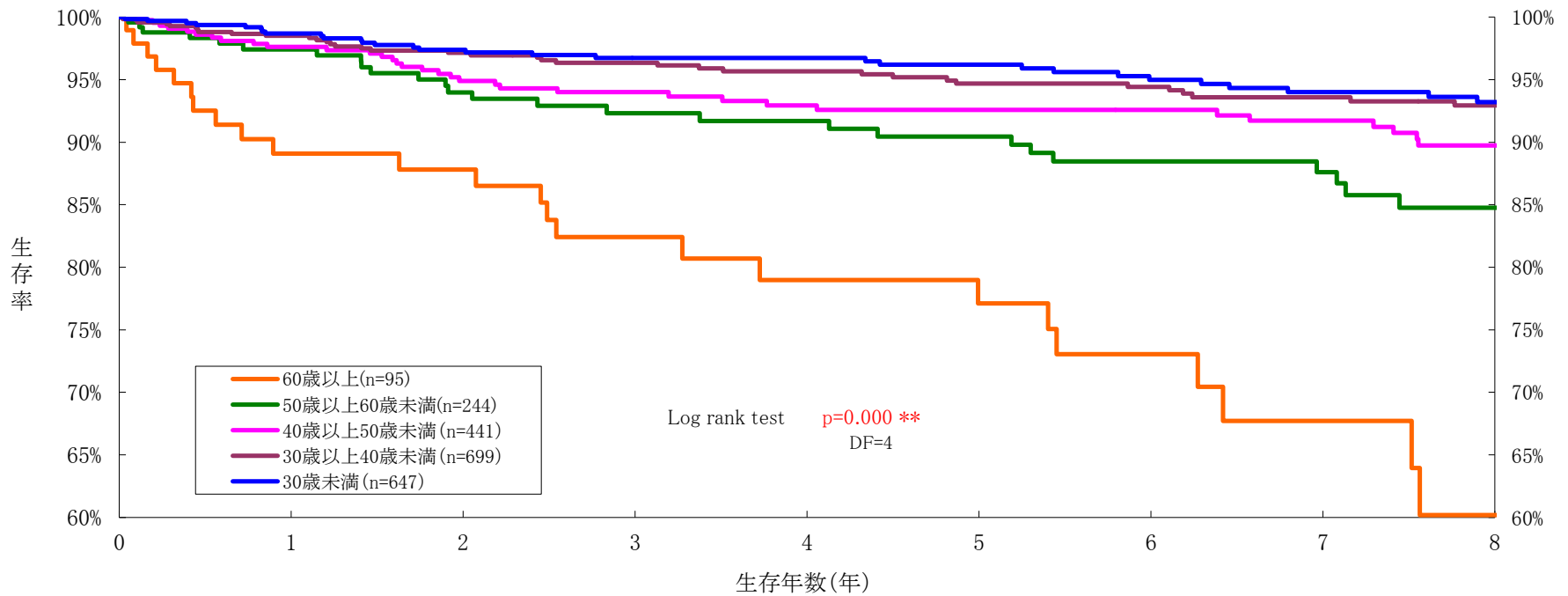
治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **

年齢別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
	<30	1374	1163	998	809	652	532	435	352	280	215	145	114	80	65	55	44	24	10
<40	2449	2104	1797	1519	1210	894	690	525	386	274	181	142	109	85	62	50	28	3	
<50	1441	1224	1060	892	714	548	436	332	250	189	123	91	51	37	27	15	8	3	
<60	770	668	587	482	392	289	226	176	122	87	60	41	30	20	11	5	2	0	
60≤	374	314	275	237	182	127	85	55	36	26	16	10	3	2	2	2	2	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。



HRD共同調査生存率  
 治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (2001年3月31日以前に治療開始した症例)



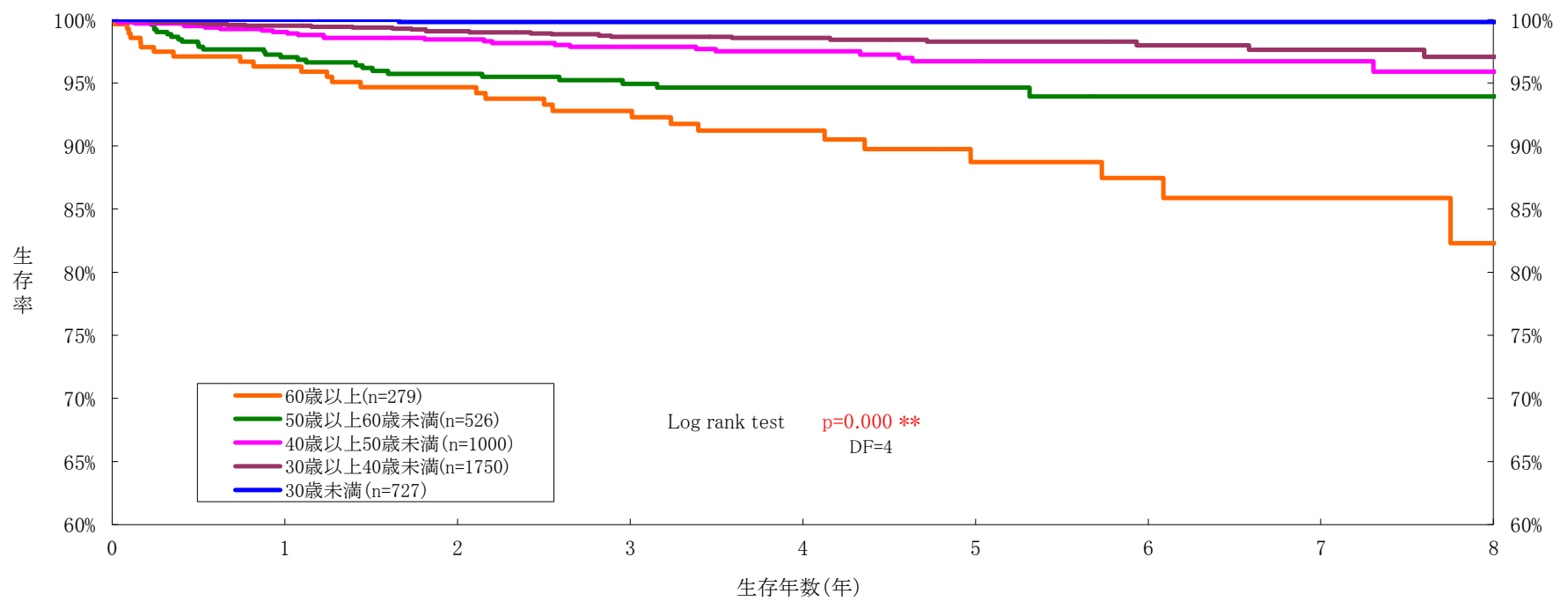
本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.005 **

年齢別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)	(14年)	(15年)	(16年)	(17年)
	<30	647	563	490	405	362	333	304	273	230	177	121	100	75	64	55	44	24	10
<40	699	601	522	445	407	381	347	303	246	190	141	121	105	85	62	50	28	3	
<50	441	386	331	277	259	252	230	200	166	126	83	70	51	37	27	15	8	3	
<60	244	207	181	153	148	139	123	100	75	57	41	34	29	20	11	5	2	0	
60≦	95	76	67	52	44	41	29	22	16	13	8	7	3	2	2	2	2	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

HRD共同調査生存率  
 治療開始時年齢で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率  
 (2001年4月1日以降に治療開始した症例)



本解析では、群毎の患者背景(前治療歴の有無など)や治療内容(2剤以下の抗HIV療法の構成比など)による影響は考慮していない。

治療開始時年齢	Log rank test
60歳未満 vs 60歳以上	p=0.000 **
50歳未満 vs 50歳以上	p=0.000 **
40歳未満 vs 40歳以上	p=0.000 **
30歳未満 vs 30歳以上	p=0.000 **

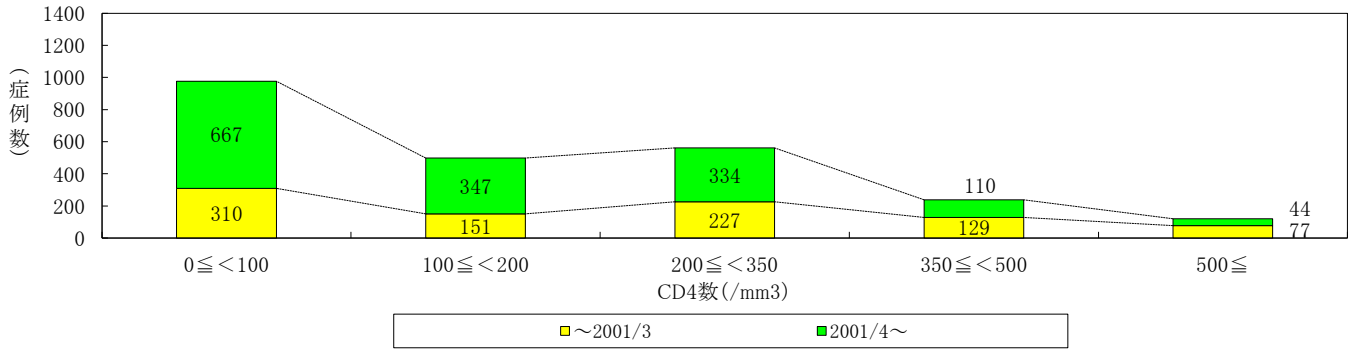
年齢別の生存者数	生存年数	0年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	(9年)	(10年)	(11年)	(12年)	(13年)
	<30	727	600	508	404	290	199	131	79	50	38	24	14	5	1
<40	1750	1503	1275	1074	803	513	343	222	140	84	40	21	4	0	
<50	1000	838	729	615	455	296	206	132	84	63	40	21	0	0	
<60	526	461	406	329	244	150	103	76	47	30	19	7	1	0	
60≦	279	238	208	185	138	86	56	33	20	13	8	3	0	0	

9年以降は生存者数のみの表記とした。

# 調査対象全症例における治療経験有無別の治療開始時のCD4数及びHIV-RNAコピー数

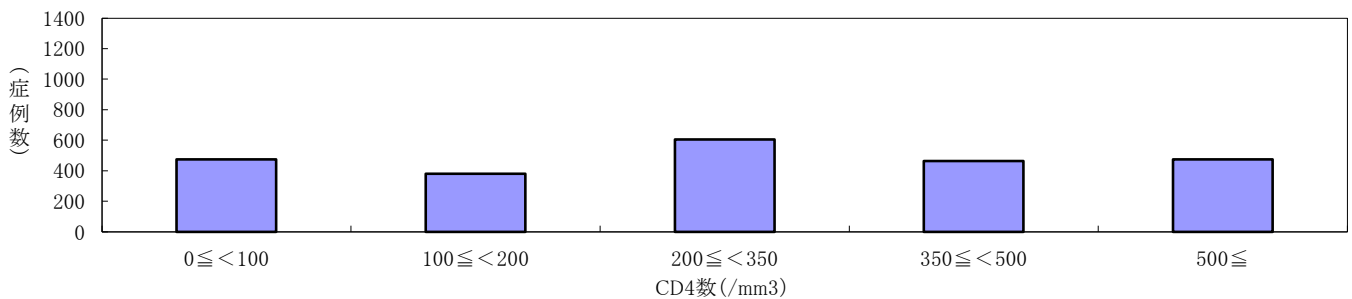
## 治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のCD4数

(調査期間: 調査開始から2014年3月) (n=2396)



## 併用療法薬剤変更時のCD4数

(調査期間: 調査開始から2014年3月) (n=2396)



※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

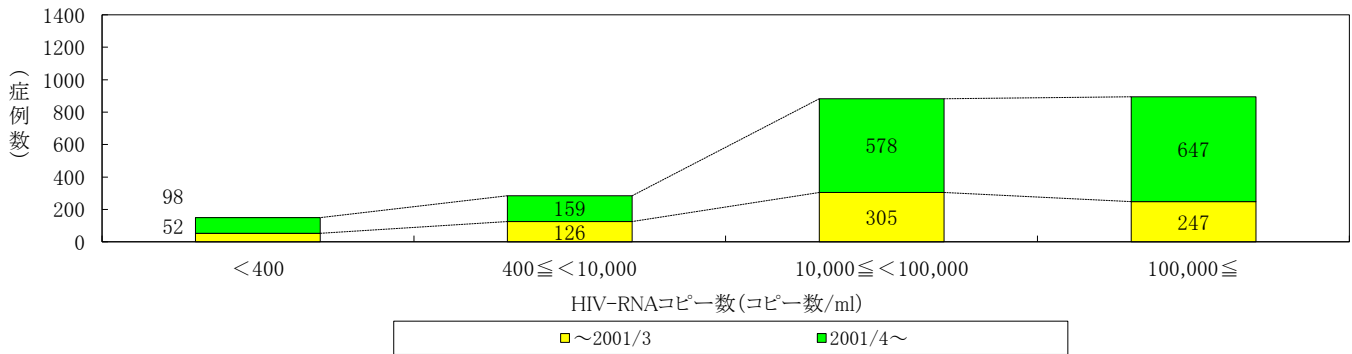
○ CD4数100未満で治療されている患者については、エイズ発症後に来院し治療を開始している等の要因が考えられた。

治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。

○ 併用療法薬剤変更時のCD4数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

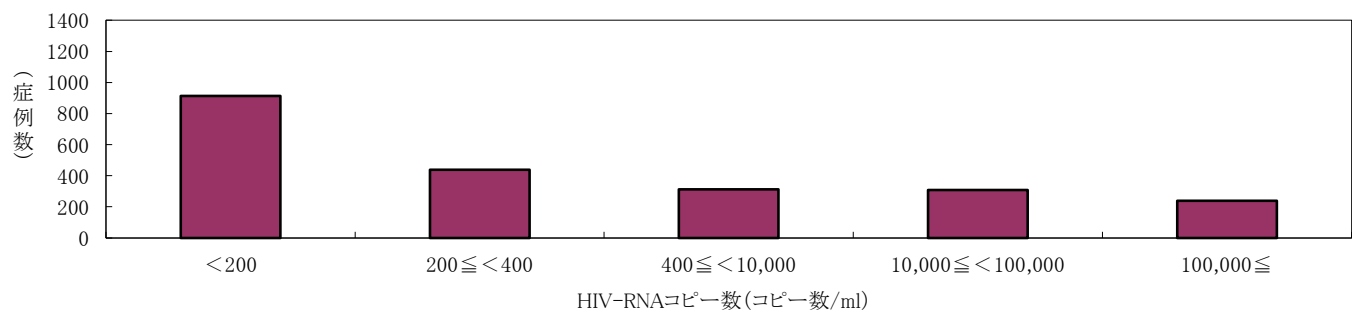
## 治療経験が無い患者 (naive患者) への治療開始時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 調査開始から2014年3月) (n=2212)



## 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数

(調査期間: 調査開始から2014年3月) (n=2212)



※治療マーカーの数値は必ずしも現在の推奨治療域と一致しているわけではありません。

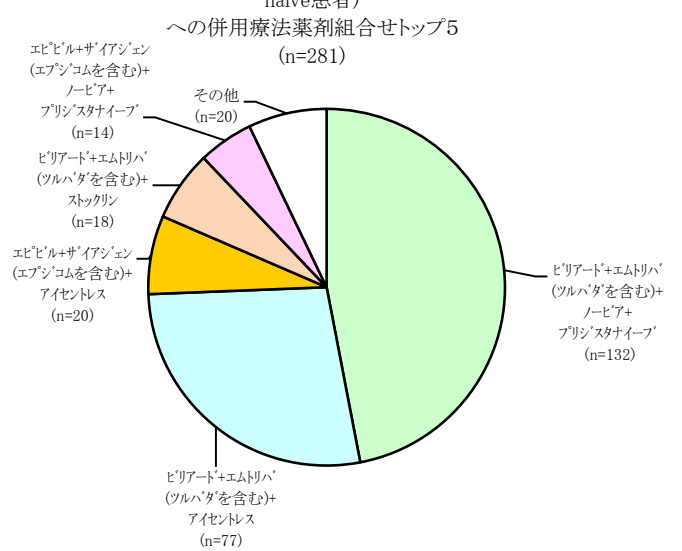
治療開始にあたっては、最新ガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

○ 治療開始前の測定結果がある治療経験が無い患者で治療開始後薬剤の変更経験がある症例を採用した。

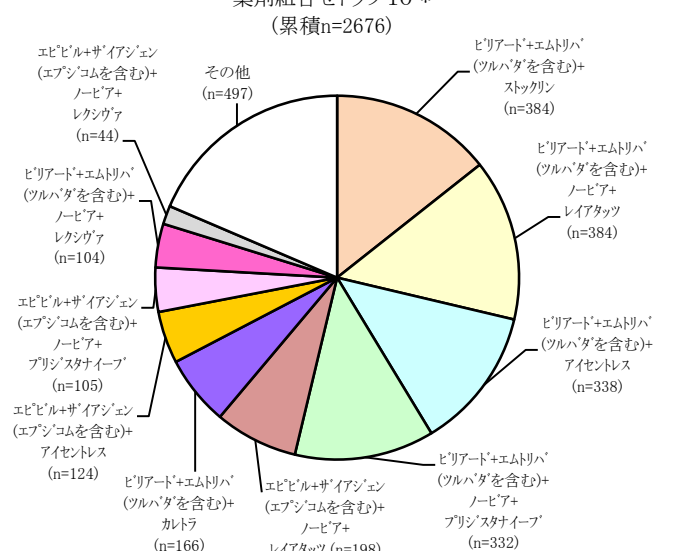
○ 併用療法薬剤変更時のHIV-RNAコピー数は、治療経験が無い患者への初回処方直後の変更処方区間のみのデータを採用した。

2011年度(2011年4月から2012年3月まで)から2013年度(2013年4月から2014年3月まで)に使用された調査対象症例における併用療法の種類(薬剤組合せ)

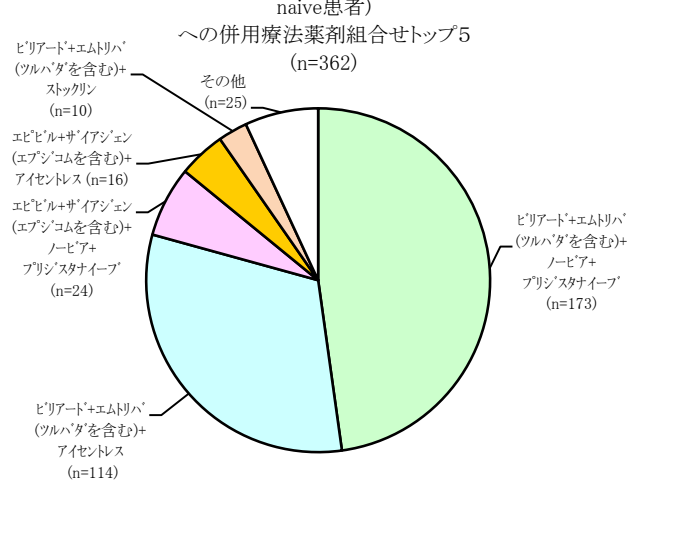
2011年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者: naive患者)



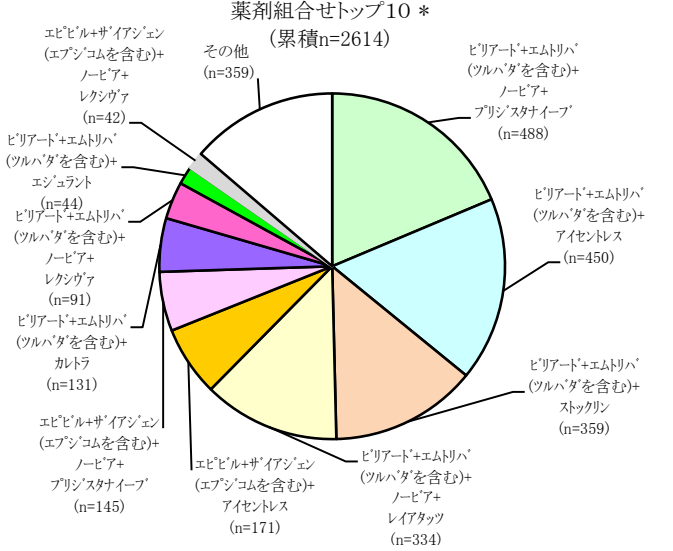
2011年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法薬剤組合せトップ10\*(累積n=2676)



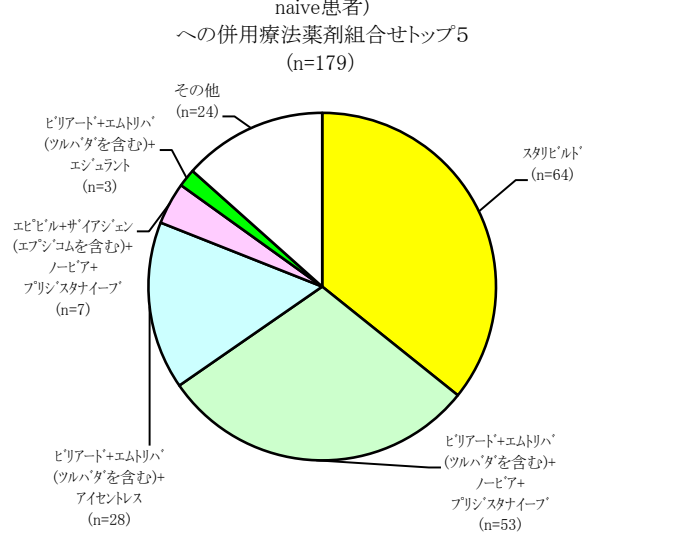
2012年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者: naive患者)



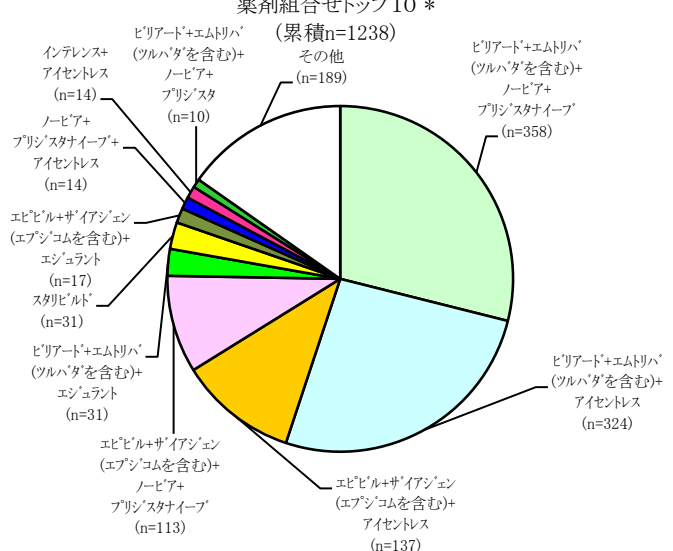
2012年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法薬剤組合せトップ10\*(累積n=2614)



2013年度に治療開始した患者(治療経験が無い患者: naive患者)



2013年度併用療法の薬剤変更後に使用された併用療法薬剤組合せトップ10\*(累積n=1238)



※必ずしも現在の治療ガイドライン等で推奨される併用療法薬剤組合せと一致しているわけではありません。治療開始にあたっては、最新のガイドライン等を参照、若しくは専門医にご相談ください。

○ 本調査結果は、本邦におけるエイズ診療の中核となる医療機関での2011年度から2013年度までの調査対象症例における多剤併用療法の使用実態抜粋である。

\* 併用された薬剤1剤でも変更されれば「変更」とカウントし、年度内に2度、3度変更されれば、重複カウントした。

HRD 共同調査協議会のホームページ

<http://www.hrd.gr.jp/>